

農報

野菜



茎ブロッコリー栽培耕種基準



野菜

田中 直
上島宮農指導センター
080-1729-1636

月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
旬	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下
圃地	〇-〇 播種		△ 定植		□ 収穫		

1) 品種 : スティックセニョール

2) 播種・育苗

プラグトレー200穴又は、ペーパーポットV4をそれぞれ23冊、28冊準備する。一粒ずつ播種し、種子が隠れるくらいに覆土する。乾燥防止の為、新聞紙で覆う。発芽を確認したら、新聞紙をはぎ、(20~25℃で2日程)徒長を防ぐ。プラグトレーの場合、根鉢をつくるために地上から浮かせる。(10cm程度でもOK)

3) 本圃準備

出来るだけ早めに石灰窒素(80kg/10a)を施用し、耕耘する。(注)石灰窒素は作物に直接接触すると障害が起きる場合があるので、最低でも定植の2~3週間前までに

い、分解を促進するため水分を十分保つ。元肥は、土壤水分が適当な時に全面散布し、畦立てマルチを行う。※石灰窒素を使用しない場合は、CDUs 555、苦土石灰を増量する。

4) 定植

畦幅135cm、株間35~40cm、条間45cm(3500~4000株/10a)の浅植えとし、定植後液肥(500倍)で灌水を行い、活着を促す。

5) 収穫

第1回収穫は頂蕾が500円玉だいになった頃程度残し、摘芯収穫をする。第2回目以降は、外葉を落とし腋芽を伸ばし収穫する。

6) 追肥

第1回収穫後、窒素成分で10a当り2kg程度を穴肥で施す。以降、2週間おきにN成分で2kg程度を追肥する。

果樹



9月の柑橘園管理



果樹

白石 一斗
下島宮農指導センター
080-1729-1633

8月1日時点果実分析内容を見てみますと、極早生温州及び露地デコボンで低糖高酸傾向であり、6~7月の日照不足の影響が出ている様です。極早生温州では今月より収穫を始めますが果実内容を良く確認し、最後まで品質向上管理を行きましょう。

1. 病虫害防除

収穫時期の近い極早生については、農薬の倍数・収穫前日数に充分注意して使用して下さい。

また、ベフトップジン(F)につきまして収穫前日数の変更が行われています。温州みかんについては、従来通り収穫前日数は7日前までとなっていますので、ご注意ください。

対象病虫害	農薬名	希釈倍数	収穫前日数	備考
黒点病	ジマンダイセン水和剤	600倍	温30日・中90日前	極早生や年内収穫するパール柑・ポンカンには使用しない
ハダニ	スターマイトフロアブル	2,000倍	温・中 7日前	発生時
カメムシ	Mr. ジョーカー水和剤	2,000倍	温・中 14日前	発生時
	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	温・中 前日まで	
さび果黒点病	オキシンドー水和剤80	800倍	温・中 30日前まで	河内晩柑パール柑対象
貯蔵病害(極早生対象)	ベフトップジンフロアブル	1,500倍	温7日・中前日	1回目
	ペフラン液剤25	2,000倍	温・中 前日まで	2回目

◎注意:黒点病で使用使用するエムダイファー水和剤についても、ペンコゼブ水和剤・ジマンダイセン水和剤同様、極早生温州では使用しないで下さい。

2. 施肥

施肥を実施後降雨がない場合は、かん水を行い肥料を効かせるようにして下さい。

施肥時期	品種名	肥料名	10a当たり施用量
9月上旬	甘夏・河内晩柑 清見・パール柑	熊本果樹肥料 10-7-4 又は ひのくに果樹 9-3-3	4袋
	デコボン	熊本デコボン 8-3-3 又は ひのくに果樹 9-3-3	4袋
9月上旬	河内晩柑	硫酸	1袋

3. 土壌水分管理

極早生温州では9月1日の分析結果を基に、今後の水分管理を徹底して下さい。中晩柑類については、今後も肥大促進の為雨が降らない場合は、定期的にかん水を実施して下さい。

○豊福早生

糖度	酸度	生産対応
-	2.3以上	多量かん水3t以上/10a 3日間隔
-	2~2.2	少量かん水3t以上/10a 5日間隔
9.0以上	2.0未満	現状維持
9.0未満	-	乾燥ストレス促進



4. 仕上げ摘果の実施

日焼け果や病虫害果を中心に仕上げ摘果を行って下さい。特に樹上部の果面の粗い果実は日焼けしやすい傾向ですので、できるだけ早めに摘果を行きましょう。

當情



手軽にできる有機ペランダ栽培

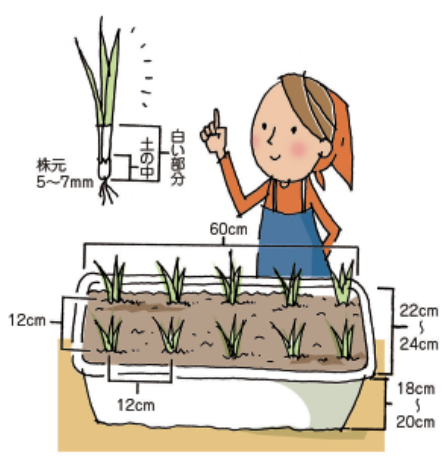
タマネギの秋まき栽培

明治大学特任教授 ● 佐倉朗夫

タマネギは、国内生産量が第4位、おなじみの家庭常備野菜です。

奥行き22〜24cm、間口60cmのコンテナであれば、2条植えで10株収穫できます。早生種、中生種、中晩生種を組み合わせ多めに栽培すれば、5月から翌年1月まで自給が可能です。初心者も苗を買って植え付けることをお勧めしますが、種まきから始めることもできます。

種まきは、関東以西平地で9月中旬、東北は9月上旬、暖地は9月下旬が目安ですが、各地域の適期に従います。早生種はこれより早めに、中晩生種は遅めにします。



植え付け用とは別にコンテナを用意し、種の間隔が0・5〜1cm、条間10cmの条まきにし、厚さ1cmに覆土して水やりします。発芽したら2cm間隔に間引き、種まきから30日後にぼかし肥1条当たり10gを追肥します。株元の太さが5〜7mmに育つまで55〜60日です。

植え付けは11月中旬が目安です。条間と株間は共に12〜13cmの正方形にします。苗は多めに用意しコンテナごとに大きさをそろえて植えます。株元の太さが5mm程度を標準にし、それよりも太い場合でも鉛筆の太さ(約7mm)を超えない物を選びます。太いととう立ちしやすく、細過ぎると小さな球にしかなりません。植え付け位置に深さ3〜4cmの細い植え穴を作り、葉の分岐部が埋まらないように、下部の白い部分が3分の1ほど地上に見えるぐらいに挿し込みます。このとき、根が地上に出ないようにします。コンテナには前日までに水やりをしておき、植え付けたら地際を手で強めに押さえます。追肥は12月下旬、2月上旬と下旬の3回、ぼかし肥1条当たり10g施します。水やりは適宜行い、特に生育が旺盛になる3月下旬以降は毎日行います。

収穫は、葉が自然に倒れてから、まだ葉が青々している状態で抜き取ります。葉を半分切り落とし数個を1束に縛り、風通しの良い日陰でつり下げ保存します。

花卉



トルコギキョウの「すすかび病」対策について



花 卉
中原 英幸
下島宮農指導センター
080-1729-1629

近年、トルコギキョウに新しい病気として、発生しているのが「すすかび病」です。

発生すると、広がりなかなか止まりにくい病気です。また、上から下までの葉に発生し出荷できなくなります。

花での事例が少ないために、今回はトマトでの事例でご紹介いたします。

今後、多発する恐れがありますので、十分注意して管理を行ってください。

○トマトの似て非なる病害

「葉かび病」と「すすかび病」の防除対策
葉かび病とすすかび病は見た目の区別は困難です。そのため、病気の症状と特徴で見極めます。

葉かび病	すすかび病
<ul style="list-style-type: none"> 施設栽培で発生が多い。 主に葉に発生する。ただし、激発時には莖や花、果実なども侵す。 初め葉の表面の一部分がわずかに黄変し、やがて裏側に、灰白色で輪郭が不鮮明な病斑を生じ、灰白色のピロード状のかびを生じる。 その後、病斑は拡大して、円形あるいは葉脈に囲まれた不整形となり、かびの色は灰褐色、褐色と色の濃さを増していく。 下位葉から次第に上位葉に広がる。 葉裏のかびは盛り上がりかたが立体的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設栽培で発生が多い。 葉に発生する。 初め葉裏にほんやりした淡黄緑色の病斑が現れ、やがて葉裏に灰褐色粉状のかびを生じる。その後、病斑は拡大し、円形あるいは葉脈に囲まれた不整形となり、かびの色は褐色から黒褐色になる。 葉のかびは盛り上がりかたが平面的である。

葉かび病	すすかび病
<ul style="list-style-type: none"> 糸状菌の一種で不完全菌類に属する。 感染植物はトマト。 伝染源は発病葉、種子のほか、施設栽培では発生したハウスの支柱、ビニル等。 多湿条件下で発生する。 病原菌の生育適温は20〜25℃(外か低温で換気が十分にできない晩秋〜春の時期に発生が多い) 肥料切れや灌果により、生育が衰えると発生しやすくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 糸状菌の一種で不完全菌類に属する。 感染植物はトマト、なす(すす斑病)。 伝染源は発病葉等。 多湿条件下で発生する。 病原菌の生育適温は26〜28℃(葉かび病に比べ高温期に発生が多い。) 生育が旺盛な時でも発生する。

○葉かび病並びにすすかび病の防除対策

- ・発病葉、植物残渣は伝染源となるため、圃場外に持ち出し適切に処分する。
- ・多湿条件下で発病しやすいため、過繁茂にならないように管理を行い、室内の換気に努める。
- ・予防散布に努め、発生の拡大防止に努める。(感染から発病までの期間は2〜3週間と長い。)
- ・葉かび病のみに登録がある薬剤を使用して、防除効果が現れにくい場合、すすかび病に登録がある薬剤を使用する。
- ・薬剤の感受性低下(耐性菌の発生)を防ぐため、薬剤のローテーション散布を行う。※熊本県花き協会トルコギキョウ部会研修会資料より

参考：登録農薬剤(葉かび病・すすかび病)

商品名	希釈倍数	希釈水量	使用方法	使用回数	登録名	その他
アフエツトフロアブル	2000倍	100〜300L/10a	散布(発病初期)	3回以内	花き類(灰色かび)	他品目ですすかび病登録有
ゲッター水和剤	1000倍	100〜300L/10a	散布(発病初期)	5回以内	花き類(灰色かび)	他品目で葉かび病登録有
カリグリーン	800倍	150〜500L/10a	散布(発病初期)	-	花き類(うどんこ病)	他品目で葉かび病登録有
トップジンM水和剤	1500倍	100〜300L/10a	散布(発病初期)	5回以内	花き類(菌核)	他品目で葉かび病登録有
トリフミン水和剤	3000倍	100〜300L/10a	散布(発病初期)	5回以内	花き類(うどんこ病)	他品目で葉かび・すすかびで登録有

※花き全般で葉かび病・すすかび病での登録はありません。

トルコギキョウの「すすかび病」症状

